

平成21年度 市政懇談会

市では、農業従事者を対象とした「クラフト農業懇談会」と中学3年生を対象とした「サマー・ミーティング」を7月に開催しました。それぞれの開催内容の一部をご紹介します。詳しくは、笠間市ホームページをご覧ください。

クラフト農業懇談会（農業従事者対象）

市の今年度の重要施策である農業について、農業従事者と行政がお互いの情報を交換し合い、交流を図り、今後の施策に反映させるため、7月8日、15日、22日に「クラフト農業懇談会」を各地区で開催しました。当日は、「担い手・後継者対策」、「基盤整備」及び「耕作放棄対策・その他」を主なテーマに意見交換を行なっていました。

担い手・後継者対策について

Q 担い手・後継者対策について、市の方針とその具体策は何か伺いたい。

A 就農にも、農家の跡取りと新規就農の2種類があります。最近新規就農についての問い合わせが多いですが、本気なのか趣味なのか、温度差があります。

担い手・後継者対策については、専業農家に厚みを加えることが大事であると考えています。経営として農業を行うに

は、それなりのリスクを伴います。本格的に農業経営をしたい人への支援をすべきであると考えています。茨城県農業振興公社において、新たに農業を始める人向けのニューファーマー育成事業や就農するために必要な資金を無利子で融資する事業があります。窓口を一本化して、これら必要な情報を提供することが重要であると考えています。

笠間市は農業産出額が低く、農業経営は厳しい状況であります。農業経営によって高収入が得られれば、後継者や担い手の問題もおのずと解消されるのではないかと考えています。

地力維持増進のための取り組み

Q 小原畑地帯総合整備事業により整備した畑地は地力が低く維持するのが難しい。その場所に適した作物を作るうえで土づくりが一番大事である。畜産農家の家畜

の排泄物を利用した堆肥の生産還元が必要と考えるがどうか。

また、耕種農家へも堆肥舎がほしい。畑地にあった良質の堆肥にするために、落ち葉などいろいろな成分を混ぜ合わせる必要がある。そのためストックヤードとして使用したい。

A 耕畜連携による良質堆肥の生産還元と流通体制の構築までを視野に入れた取り組みを行うことになっていきます。すでに土づくり推進協議会を設置しており、本年度は市内畜産農家の堆肥の生産状況や成分分析などを行う予定となっています。また、堆肥小屋等の施設については、既存の畜産農家が整備した施設の最大限の有効活用を考えています。

転作の取組みについて

Q 集落で転作に取り組んでいる。足りない分を加工米で対応していただいているが、お願いに行くとなかなかいい返事がもらえない。友部地区は達成しているが市全体で達成していない。市として未達成では、今後、減反の配分が増える懸念がありスムーズに推進できない状況にある。市は転作についてどのように考えているのか。

A 転作について、市として達成率100%

を目指して推進しています。しかし、達成していないのが現状です。ただ、年々徐々に上がってきています。3年前90%であったものが93%になりH20年度は95.4%までに推移しています。これからもしっかりと推進していきます。また、今年度は新しく飼料用米3ha、飼料用稲で22ha取り組んでいきます。飼料用米・稲は転作率にカウントされ水田機能も保存されるので、有効な手段と考えています。



クラフト農業懇談会開催風景

サマー・マーケットイベント(中学3年生対象)

「市長と語ろう未来の笠間」

7月22日、昨年に引き続き、中学3年生との懇談会「サマー・ミーティング」を開催しました。市内7校の中学3年生全員に「笠間市の未来に望むこと」をテーマに作文を書いてもらい、各校の代表4人計28人が参加し、身近な問題から笠間の未来に関することまで、さまざまな意見を提言してくれました。



サマー・ミーティングに参加した皆さん

◆テーマ「観光・産業」

- 多くの皆さんに笠間の特産物を知ってもらうために、大きな「道の駅」を作つてはどうか。また、「食」という目線で見るともつと大きな観光地になる。
- もつと観光行事が増えるとうい。
- 笠間焼などの文化を大切にし、クリーン作戦を強化すれば、住みやすい環境になる。
- 笠間の特産物を広く知ってもらうアイデアをもつと出してほしい。
- アンテナショップが効果的ではないか。
- インターネットを使って、世界中にもつと笠間を知ってもらうとうい。
- 笠間を知ってもらうために、ブランドを確立したほうがよい。
- 岩間地区にも大きなドラッグストアがあるとよい。
- 流鏝馬やぶがさめに有名人が参加してくれれば、効果が得られる。

◆テーマ「環境」

- 豊かな自然を生かした産業や事業を増やしていくことが必要ではないか。また、道路に花を植える事業を広範囲で

行っていくためには、市民の協力が必要になる。

- クリーン作戦をもつと目立つように実施してはどうか。
- 市役所や公民館など、人が集まりやすい場所でフリーマーケットを開催してはどうか。
- クリーン作戦は、市全体で実施してほしい。
- 笠間はもともと緑が多いので、その維持継続に力を入れていくことで、訪れる人によいイメージを持ってもらうことができる。
- 道路を舗装してほしい。
- 野焼きが多いので、注意を呼びかけてほしい。
- 道路にたばこの吸殻を捨てる人への注意の呼びかけが大事だ。

◆テーマ「安心・安全」

- 道や踏切が狭いので、整備して、安心して住めるようにしてほしい。
- 街灯、ガードレール、カーブミラーを増やしてほしい。
- 小学生と中学生のそれぞれ専用の通学路を作してほしい。
- 市役所や保健センターの職員が、お年寄りの健康チェックをして回つた方がよい。
- 地域が活性化し、地域とのつながりを

大切にしている日本一温かいまちになってほしい。

- 大人になるとあいさつをしなくなってしまうのはどうしてか。
- 通学路に街灯を整備してほしい。
- 信号がなくて危ないところがある。
- 友部駅近くの点滅信号を普通の信号にしてほしい。
- 高校生にマナーを呼びかけてほしい。

◆テーマ「生活」

- 段差や電柱を減らして、歩道を広くしてほしい。
- ホタルを保護するため、明るさの弱い街灯を使ってほしい。
- 高齢者が楽しめる施設を作してほしい。
- 落書きがないまちにしてほしい。
- 高齢者が増えてきたが、今はデマンドタクシーがあるのでよい。
- 音楽がもつと活性化するような施設を作してほしい。
- 外国人との交流がもつとあつてもよい。
- 中学生が英語で話し合う「インタラクティブイングリッシュフォーラム」をもつと広めてほしい。
- 妊婦さんが安心して出産できるように、医療を充実させてほしい。
- 福祉施設を増やし、お年寄りのちょっとした異変に気づけるようにしてほしい。